

リハビリテーション学部 シラバスの変更一覧

専攻	学年	ページ	科目名
PT・OT	1年	37	解剖学実習

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	人間基盤力	連携協働力	専門実践力	学術探究力	課題解決力	ReFa04			
	●		●						
科目名	解剖学実習				単位認定者	伊橋光二		試験(実技)	100%
対象学科等 必修・選択 配当年次	P T	必修	1年	開講時期	通年	単位数	1 単位	評価の方法	%
	O T	必修	1年			授業時間数	40 時間		%
				授業形態	実習	授業回数	20 回		%
授業の概要	理学療法および作業療法における検査・測定および治療を実施するにあたり、体表から骨、関節、靭帯、筋、腱、神経、血管等の身体組織の触診を行えることは必要不可欠な技術である。本科目では、理学療法および作業療法と関わりが深い、運動器系の人体の構造を理解するために、骨の名称、筋の名称、筋の起始・停止、筋の作用や支配神経について骨と筋の模型を用いて学修する。また、各組織の名称、筋の走行などの基本的な体表解剖学の確認を行うとともに、部位ごとに触診する技術を学修する。								
到達目標	1. 身体各組織、器官の解剖学的名称と機能、触診が可能な部位を説明できるようになる。 2. 体表から骨、関節、靭帯、筋、腱、神経、血管など身体組織を触診できるようになる。 3. 各組織、部位を触診する意義を理解し、診断・治療に正しく応用できるようになる。								
学修者への期待等	身体構造や形態を体表から透かして見るように的確に捉え、筋骨格系組織を意識的に区別して触診ができることで、身体形態的異常・アライメント異常を確認でき、痛みの原因や損傷・障害のある筋骨格系組織の鑑別に繋げることができるようになる。また再現性のある正確な検査・測定および効果的治療が実施できる。授業にあたっては、解剖学の内容を十分に復習し、具体的到達目標に基づいた予習を行ったうえで授業に臨み、名称、位置、機能を総合的に学修することを原則とする。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	解剖学実習概論と各組織の触診方法				①配付資料を確認 ②シラバス・具体的到達目標を確認			伊橋 光二 鈴木 裕治	
2	骨・関節の触診①肩複合体				①解剖学の肩甲帯の骨・関節の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
3	骨・関節の触診②上肢帯・上腕・前腕・手部				①解剖学の上腕・前腕・手部の骨・関節の復習 ②具体的到達目標の予習(反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
4	骨・関節の触診③骨盤・大腿				①解剖学の骨盤・大腿部の骨・関節・軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
5	骨・関節の触診④下腿・足部				①解剖学の下腿・足部の骨・関節・軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習 ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
6	骨・関節の触診⑤体幹				①解剖学の体幹の骨・関節の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
7	骨・関節の触診⑥全身				①解剖学の骨・関節の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
8	軟部組織の触診①肩複合体・上肢帯・上腕				①解剖学の肩・上腕部の軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
9	軟部組織の触診②前腕・手部				①解剖学の前腕・手部の軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	
10	軟部組織の触診③骨盤・大腿				①解剖学の骨盤帯・大腿部の軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習(ICT反転授業・AL) ③授業の復習(触診の実技練習)(60分程度)			伊橋 光二 鈴木 裕治	

回	授業計画	準備学修	担当
11	軟部組織の触診④下腿・足部	①解剖学の骨盤帯・大腿部の軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習（ICT反転授業・AL） ③授業の復習（触診の実技練習）（60分程度）	伊橋 光二 鈴木 裕治
12	軟部組織の触診⑤体幹	①解剖学の体幹の軟部組織の復習 ②具体的到達目標の予習（ICT反転授業・AL） ③授業の復習（触診の実技練習）（60分程度）	伊橋 光二 鈴木 裕治
13	軟部組織の触診⑥全身	全ての軟部組織の復習（触診の実技練習）（60分程度）	伊橋 光二 鈴木 裕治
14	血管、神経、その他身体組織の触診	①解剖学の血管・神経の復習 ②具体的到達目標の予習（ICT反転授業・AL） ③授業の復習（触診の実技練習）（60分程度）	伊橋 光二 鈴木 裕治
15	触診の理学療法への応用	①学習した触診部位、触診の流れの確認 ②学習した検査・測定の復習（30分程度）	伊橋 光二 鈴木 裕治
16	解剖学実習における倫理	①配付資料を確認 ②シラバス・具体的到達目標を確認	伊橋 光二 鈴木 裕治
17	人体解剖実習①上肢・神経系	①第16回（倫理）の確認（5分） ②全ての骨・関節・軟部組織の復習（40分程度） ③人体解剖実習の課題を実施し提出（60分程度）	山本 由似 伊橋 光二 大和田 宏美 鈴木 裕治
18	人体解剖実習②下肢・神経系	①第16回（倫理）の確認（5分） ②全ての骨・関節・軟部組織の復習（40分程度） ③人体解剖実習の課題を実施し提出（60分程度）	山本 由似 大和田 祐二 伊橋 光二 大和田 宏美 鈴木 裕治
19	人体解剖実習③体幹・臓器	①第16回（倫理）の確認（5分） ②全ての骨・関節・軟部組織の復習（40分程度） ③人体解剖実習の課題を実施し提出（60分程度）	山本 由似 大和田 祐二 伊橋 光二 大和田 宏美 鈴木 裕治
20	総復習	全ての骨・関節・軟部組織の復習（触診の実技練習）（60分程度）	伊橋 光二 大和田 宏美 鈴木 裕治
教科書	『運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢』メジカルビュー社 『運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹』メジカルビュー社		
参考文献	『骨格筋の形と触察法』大峰閣 『プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系』医学書院 『プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖』医学書院 『カラー版 筋骨格系のキネシオロジー』医歯薬出版株式会社 『基礎運動学』医歯薬出版株式会社		
備考	PTA・PTB・OT 3クラス体制（17～19回は3クラス合同）		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--